

# 「授業連動型家庭学習」による授業改善事例（2学期）

〔横川小学校〕

## 1 教科・単元名等

算数科：2年 「かけ算（3）」

〔第3時／全7時間〕の実践

## 2 本時の授業と家庭学習とを連動させる意図

- ・ 本時で習ったことを生かし、かけ算を使ったチョコレートの総数を求める方法を保護者に説明することで、活用する力を身に付けさせる。
- ・ 保護者に、児童の授業での学びを周知してもらおうとともに、児童ができるようになったことを家庭で伝える場を作り、褒めてもらえるようにする。  
（【C】既習内容活用型）

## 3 家庭学習の指示内容（11月28日（月）5校時）

### 家庭学習

- ・ 本時で学習したかけ算を使って総数を求める方法（動かす・分ける・全体から引く）を活かし、チョコレートの総数を求め、保護者に求め方を説明する。

## 4 授業の実際（11月28日（月）5校時）

### 導入場面

#### 1 学習課題をつかむ。

チョコレートは、  
なんこあるでしょうか。



#### 2 学習課題を確かめる。

チョコレートの数を計算で求めるには、  
どうすればよいだろうか。

#### 【見通し】

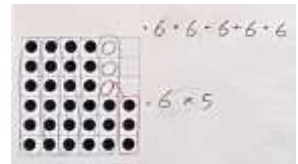
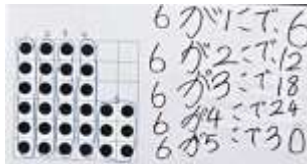
図・式・かけ算・おはじき（ブロック）

### 展開場面

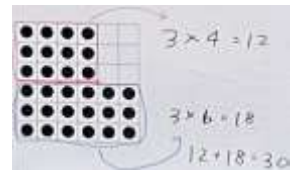
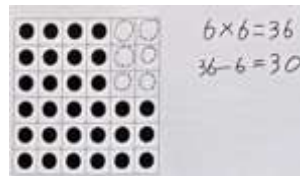
#### 3 一人調べをする。

#### 4 ペアで交流→全体で交流

- ・ 6のまとまりを作る
- ・ 動かす



- ・ 全体から引く
- ・ 分ける



### 終末場面

#### 5 本時の学習場面についてまとめる。

動かしたり、引いたり、分けたりして、数のまとまりを作るとかけ算で求められる。

#### 6 練習問題に取り組む。

チョコレートは、  
なんこあるでしょうか。



- ・ 求め方を保護者にどのように説明するかをワークシートにまとめる。

### ※ 授業連動型家庭学習

#### 7 学習の振り返りを行う。

☆ ワークシートには、保護者の方からの評価欄を設ける。

おうちの人から (◎:大変よくできた ○:できた △:もう少しがんばろう)。

◇ せつめいが分かりやすかったか。

( ◎ ○ △ )

◇ さいごまでせつめいしようがんばることができたか。

( ◎ ○ △ )

(ひとこと)

◎ 保護者に説明することを家庭学習にすることで、本時を活かしてチョコレートの数を工夫して求めようと積極的に取り組むことができた。

◎ 「説明ができた」という実感を得ることができた。

△ 授業中に、友達同士で練習問題の説明をし合う時間があれば、もっと自信をもって保護者に説明ができたのではないか。

○ これからも、保護者と連携を取りながら実践していきたい。効果的に行うには、保護者との連携が重要。

## 「授業連動型家庭学習」による授業改善事例（1学期）

〔青葉小学校〕

## 1 教科・単元名等

算数科：小学5年 「小数と整数」

〔第3時／全4時間〕の実践

## 2 本時の授業と家庭学習とを連動させる意図

学んだことをその日のうちに振り返り、習得した内容を自分の言葉で再度説明する「とらえ直し」を行うことで学力の定着を図る。

「授業連動型家庭学習」【C】既習内容活用型

## 3 家庭学習の指示内容（4月12日（火） 4校時）

**家庭学習**

## 1 保護者に対して説明しよう

36.35を10倍した数は363.5、100倍した数は3635です。それでは、1000倍した数はいくらになりますか。また、どうして、そう考えたのか保護者に対して説明しましょう。

## 2 計算しよう

①  $3.87 \times 10$     ②  $8.7 \times 100$     ③  $8617 = ( ) \times 1000 + ( ) \times 100 + 1 \times ( ) + 7 \times ( )$

## 4 授業の実際（4月13日（水）1校時）

**導入場面**

## 1 前時の復習をする。

- 宿題をもとに1000倍した数はいくらかまた、どうしてそう考えたのかペアで説明し合う。 ※家庭学習より

## 2 本時のめあてを確認する。

&lt;学習問題&gt;

ある数を $\frac{1}{10} \cdot \frac{1}{100}$ すると、どんな数になるだろうか。

- 倍のきまりを生かせないかな。
- 小数点を逆に動かすのかも。

**展開場面**

3 125を $\frac{1}{10} \cdot \frac{1}{100}$ にするとどんな数になるか考える。

- 位取り表に $\frac{1}{10} \cdot \frac{1}{100}$ という位があるけど関係あるのかな。
- 小数点を倍の逆、左に動かすと数が小さくなる。

4 それぞれの考えをロイロで共有し、共通点や相違点を話し合う。

- 小数点が左に動くことで位が一つがっている。
- 小数点を $\frac{1}{10}$ すると1けた、 $\frac{1}{100}$ すると2けた動かした数になる。

5 本時のまとめをする。

- ◎ 自分の言葉できまりを説明した経験を活かしまとめを書くことができた。

**終末場面**

## 6 確かめをする。

## 7 今日の家家庭学習の説明をする。

※家庭学習 275.67を $\frac{1}{10}$ した数は、27.567です。それでは $\frac{1}{100}$ した数はいくらになりますか。また、どうして、そう考えたのか説明しましょう。